

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和8年度漂流予測システムの運用保守業務
業 務 概 要	本業務は、流出油に関する情報をもとに、漂流油のリアルタイムなハザード情報及び油漂流予測情報を提供する「ネットワーク対応型油漂流予測システム」の運用保守、ならびに洋上浮遊ゴミ回収事業における回収効率の向上を目的とした「ゴミ回収予測システム」の導入を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 関門航路事務所長 栗畑 竜志 北九州市小倉北区浅野3丁目7番38号
契 約 年 月 日	令和8年4月1日
契 約 業 者 名	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	神奈川県横須賀市長瀬3丁目1-1
契 約 金 額	8,679,000円（税込み）
予 定 価 格	8,681,871円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>本業務を履行するために必要な全ての要件を備える機関として国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所を特定公益法人等として特定した上で「参加者の有無を確認する公募手続き」に基づき、特定公益法人等以外の参加者の有無を確認するための公募手続きを行ったところ、他者からは本業務への参加意思を表明する書類が提出されなかったことから、同法人が本業務を履行出来る唯一の機関と判断した。</p> <p>契約の性質または目的が競争を許さない場合に該当する為、会計法第29条の3第4項に基づき、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和8年4月1日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和9年3月31日
備 考	